

令和5年度一般会計補正予算などを可決

12月定例市議会が11月28日に招集され、12月12日までの15日間の会期で開かれました。上程された議案は、教育長の任命や令和5年度一般会計補正予算など27件と報告4件で、すべて原案のとおり可決・同意されました。

上程された主な議案

◇教育長の任命

12月9日で任期満了となる小園敦氏（由利本荘市）を、引き続き教育長として任命することに同意されました。

◇教育委員の任命

11月30日で任期満了となる小松雅子氏（平沢）を、引き続き教育委員として任命することに同意されました。

◇にかほ市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◆にかほ市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
議員および特別職（市長、副市長および教育長）の期末手当の年間支給率を0・1月引き上げるため、条例を改正しました。

◇令和5年度にかほ市一般会計補正予算（第8号・第9号・第10号）

歳入歳出予算とも5億1、667万6千円を追加し、予算総額は179億7、782万8千円となりました。

◇にかほ市アウトドア拠点施設の指定管理者の指定

令和6年5月頃にオープン予定のアウトドア拠点施設の指定管理者に、㈱モンベルホールディングスが指定されました。期間は令和6年度から10年間で

◇令和5年度にかほ市一般会計補正予算（第8号・第9号・第10号）

歳入歳出予算とも5億1、667万6千円を追加し、予算総額は179億7、782万8千円となりました。

◇アウトドア拠点施設整備

道の駅象潟エリアに建設中の拠点施設本体工事の進捗状況は、10月に基礎工事が完了し11月から鉄骨工事に着手しています。11月20日時点の工事の進捗率は約40%となっています。12月中に本体工事が完成する予定でしたが、用地造成工事の遅れや、本体工事での転石の影響等により3月中旬まで工期を延長する予定で、外構工事を含め今年度内の工事完了を目指します。

◇老朽化したスポーツ施設の運用の見直し

現在、閉校した旧小出・上浜・上郷の各小学校の体育施設をスポーツ施設として運用していますが、いずれの施設とも老朽化が進んでいます。その中でも、小出、上浜の各コミュニティプールについては、コロナ禍の影響や老朽化による不具合により利用を中止しています。また上浜グラウンドについて、かつてはスポ少などの利用がありましたが、年々利用者数が減少し、令和5年度はスポーツ団体からの利用申請はゼロとなっています。

- 【主な歳入】
- ・住民税非課税世帯支援給付金 1億8、900万円
 - ・灯油購入費等助成金 2、160万円
 - ・園芸経営継続支援事業費補助金 1、200万円
 - ・機構集積協力金交付事業交付金 1、908万円
 - ・障害者支援施設・介護保険施設・保育所等物価高騰対策事業費補助金 1、029万6千円

主な市政報告

◇若者支援住宅の整備

若者支援住宅整備事業については、令和4年12月末に日銀が金融緩和策を修正し、国内債券市場における長期金利の上限の引き上げを発表したことを受けて、全体事業費の大幅な増加が見込まれることから事業をいったん停止し、計画の見直しを検討することとしました。

今後は国の交付金事業等の財源を確保して進めることとし、国の地域優良賃貸住宅制度を活用した公営住宅の整備を行うため、国・県との事前協議を進めています。国の交付金を活用したうえで、需給状況を見ながら

主な教育行政報告

◇学校環境適正化

全国的に少子化が進行する中、本市においても児童生徒数が減少し、全体として小中学校の小規模化が進んでいて、将来的に教育環境へのさまざまな課題が生じることが懸念されています。そのため令和4年学校環境適正化検討委員会を設置し、今後の市内小中学校のあり方について検討を行い、令和5年3月に教育委員会に対し提言書が提出されています。提言を受け、本市の将来を担う子どもたちが心身ともにたくましく、豊かな人間性や社会性を養うとともに、確かな学力が身に付けられるような教育環境を構築するため、教育の質の充実を図ることを目的として「にかほ市学校環境適正化基本計画（案）」をまとめ

段階的に整備を進めるため、先行して敷地造成を行う必要があることから、設計・施工一括発注方式で事業を実施するための債務負担行為の設定を今定例会に提案し可決されました。また白幡森周辺エリア基本構想の策定を受けて、白幡森地内のまちづくりを推進するため、市道整備に係る測量・設計等の業務についての補正予算案も今定例会に提案し可決されました。

◇デマンド交通の実証運行

羽後交通小砂川線が11月30日で廃止されたため、上浜地区から象潟元町への移動手段として、日中の時間帯に乗り合い送迎サービス、いわゆるデマンド交通の実証運行を12月1日から行っています。デマンド交通は、自宅近くからの買い物や通院など高齢者の利用に最適化された運行システムであり、各集落サロン等に出向き丁寧に説明を重ねています。

今後、利用状況を検証しながら持続可能な生活交通の確保に取り組みます。

◇新型コロナウイルスワクチン接種事業

本市の令和5年秋開始接種は10月22日から11月29日まで行いました。この案を保護者や地域の皆さんに周知し、意見交換する会を11月20日から各小学校区単位で開催しています。計画の概略は、計画期間を令和6年度から令和15年度までの10年間とし、令和10年4月までに小学校の適正化を、令和14年4月までに中学校の適正化を図ろうというものです。適正化の手法は統合としています。小学校は仁賀保地域の二つの小学校を統合し市内3小学校に、中学校は市内3つの中学校を1校に統合するという計画になっています。

いずれも、既存校舎を利用した統合としています。なお、中学校の位置については、市が行っている人口減少対応施策などの効果を見定めてから決定するものとしていて、その決定時期を令和9年度としています。

接種率は11月5日現在21・7%となっています。今後接種を希望する方は、特例臨時接種の実施期間である令和6年3月31日まで、市内の個別接種の実施医療機関で接種することができます。

◇水道料金の改定

現在の水道料金は平成26年9月1日に改定されたものですが、改定してから9年が経過し、人口減少による使用量および料金収入の減少や、電気料金の高騰等による経費の増大など、社会状況は大きく変化しています。こうした変化を反映した総括原価の見直しを行うとともに、今後の経年管の更新等の設備維持のため、今定例会に水道料金改定の条例改正案を提案し可決されました。改定率は37・28%、標準的な家庭（22㎡）の月間水道料金は821円の負担増（税抜）となる見込みです。

新料金の実施日は令和6年6月1日を予定していて、地区説明会の開催や広報、折り込みチラシ、HPへの掲載等を実施し

ながら市民へ周知していきます。